

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

2021年12月16日

各位

経口 COVID-19 治療薬候補 AT-527 に関する今後の国内開発について

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、COVID-19 に対する新規治療薬候補である RNA ポリメラーゼ阻害剤 AT-527 について、自社による開発を終了することをお知らせいたします。

AT-527 はアテア社により創製され、当社の戦略的パートナーであるロシュ社とアテア社が共同でグローバル開発を実施していましたが、2021年11月16日に AT-527 に関する両社の提携の解消が発表されました。当社は、2021年2月にロシュ社より日本における AT-527 に対する独占的な開発権および販売権を取得し、日本より第 III 相国際共同臨床試験 MORNINGSKY 試験に参加しておりました。

両社の決定を受け、今後について検討した結果、当社による開発を終了いたします。今後の本剤の臨床開発については、アテア社により検討されます。

代表取締役社長 CEO の奥田 修は、「COVID-19 に対する治療選択肢の拡充を目指し、本剤の開発を進めてまいりましたが、このたび当社による開発を終了し、アテア社に引き継ぐこととなりました。本剤の開発にお力添えくださった患者さん、医療関係者をはじめとする皆様に感謝申し上げます」と語っています。

【参考情報】

Atea Pharmaceuticals Introduces New Strategic Clinical Development Program for AT-527 in COVID-19 (2021年12月14日アテア社プレスリリース)

<https://ir.ateapharma.com/news-releases/news-release-details/atea-pharmaceuticals-introduces-new-strategic-clinical>

以上